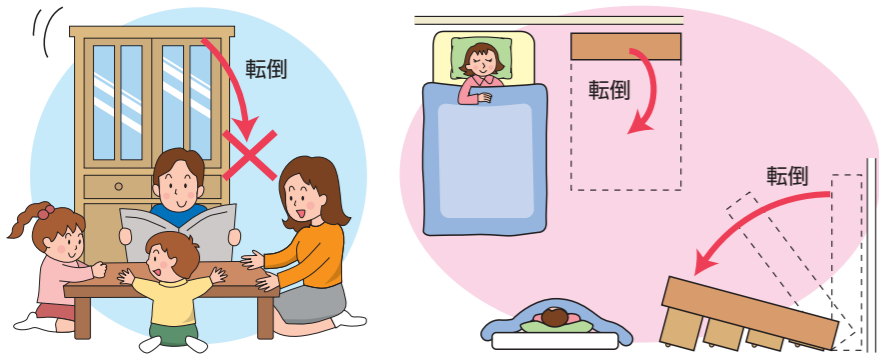


■ 安全な家具類の配置方法 ■

1 生活の場所に背の高い家具は置かない



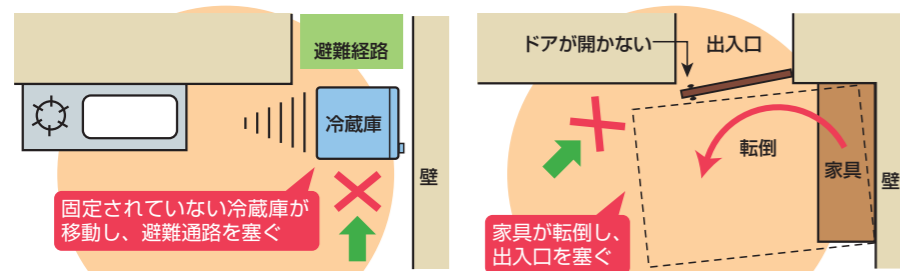
家族が生活する場所の周辺には、背の高い家具を置かないようにしましょう。やむなく置く場合は、床や壁への固定、扉の開閉防止や、ガラスの飛散防止をしておきましょう。また、就寝するときは、まわりに家具のない場所が望ましいのですが、できないときには家具の高さの分だけ離れるか、家具の脇にすると安全です。

2 家具の上に重たい物を置かない



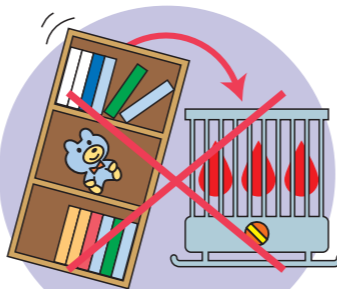
高い家具の上には、テレビ等の家電製品や書類の入った段ボール、ガラス製品等、落下したら危険な重量のある物は置かないようにしましょう。家具の上の収納庫等にも落下防止措置をしておきましょう。

3 避難経路を確保するなどの工夫をする



家電製品の転倒や移動、破損した部品の散乱等で避難障害や避難時の負傷原因となる場合があります。部屋の出入り口や避難通路付近には、なるべく大型の家具を置かないようにしましょう。

4 火気の周辺に物を置かない



暖房器具やコンロの周辺に家具等を置かないようにしましょう。転倒により出火し、火災につながります。

■ 対策のポイント ■

- **転倒防止で確実なのはL型金具での固定**
L型金具を使って壁の縦柱に固定するのが最も安定した方法です。ただし、縦柱の位置を見つけるのは難しいので、不明な場合には専門家に相談しましょう。また、集合住宅の場合には、管理組合などに確認する必要があります。
- **食器棚のガラスには飛散防止フィルムを**
食器棚やサイドボードのガラス面は、収納物の衝突で割れるおそれがあります。破片が床に飛び散らないように、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。
- **ゴムのシートを敷いて食器類の滑り止めに**
食器棚の棚板にゴムシートを敷くと、食器類が滑りにくくなります。ビニール系のシートは、逆に滑りやすくなるので、お間違えのないように。
- **戸棚の扉にはロック機構の付いたものを**
開き扉の場合、揺れによって扉が開くと、収納物が飛び出してきて危険です。閉じたときに、自動的にロックされるタイプを選ぶと良いでしょう。
- **倒れにくくする原則は重心を下げる**
食器棚では陶器やガラスの大きくて重いもの、本棚では百科事典など、重いものを下に収納するようにしましょう。全体の重心が下がると家具は倒れにくくなります。
- **ストーブの片付けは電池をはずしてから**
ストーブをしまう時、電池が入ったままだと地震の揺れで点火し、火災をおこす可能性があります。もちろん、燃料をすべて使いきってから、片付けましょう。

家具類の転倒・落下・移動防止ハンドブック

地震対策は お済みですか？



地震はいつ発生するかわかりません。家具や家電製品など、転倒・落下・移動する可能性のあるものは、しっかりと固定しておく必要があります。また、万一固定器具がはずれて転倒・落下・移動した場合にケガをしないよう、配置の工夫も合わせて行うことが大切です。

転倒・落下・移動

人や物への重大な被害や、火気器具の上への落下による火災をひきおこします。

扉の開閉

人への被害や、開閉時の音によって心理的に恐怖感をあおります。



引き出しの飛び出し

人への被害や収納物の破損、避難通路の障害となります。

■ 木製家具の転倒・落下・移動防止方法 ■

L型金具で固定する

直接壁の棧に固定する

縦棧
ボード
家具
L型金具

家具自体の棧に木ネジを固定します。

鴨居や横木に固定する

寸法は小さい程良い

付鴨居・横木
家具

隣の縦棧の位置まで横木を伸ばして固定する

家具の棧の幅が短いときには必要な幅の板を家具に打ち付けます

家庭にある一般的な木製家具は、家具の棧と柱や壁の縦棧とをL型金具を使って連結して固定するのが最も確実な転倒防止方法です。

推奨される設置方法

- L型金具を使って壁の縦棧に固定。
- L型金具を下向きに固定するのが効果が高い。
- 木ネジはネジ頭までしっかりねじ込む。
- 上下にわかれていた家具は連結する。
- 必要に応じて、家具の高さに合わせて横木を壁の棧に取り付ける。
- 家具を固定できない壁もあるので注意する。

床への固定

下部の固定・滑り止め

壁にもたれさせ、ぴったりつける
転倒防止板は家具の両端まで敷く

フローリングの床に置かれている家具類や、机の上のパソコン、家電製品等はゴム性のシートや、耐震マット等を敷いて滑りにくくする工夫をしておきましょう。また、家具の下にくさび状の転倒防止板をはさみこみ、家具を壁側に傾斜させる方法もあります。他の方法と兼用しましょう。

ネジ止めしない固定方法

ポール式の設置例

家具の両側の板部に設置する
家具の端の奥に設置する

良い例 ○
天井との空気が少ない

悪い例 ×
天井との空気が大きい

壁や柱にネジ止めできない場合、天井との間にポールを突っ張って固定します。天井とのすき間が少なく奥行のある家具で有効な方法です。

推奨される設置方法

- 複数の器具で家具の上下を固定する方が効果が高い。
- ポール式器具はできるだけ奥に取り付ける。
- ポール式器具を取り付ける時は天井に十分な強度（マンションのコンクリート天井など）があることを確認する。

コンクリート壁

コンクリート下地壁への設置

コンクリートボード
壁固定金具
家具

あと打ちアンカーボルト

石膏ボードやビニールクロスが仕上材として張られている場合、その下地に強度のしっかりとしたコンクリート壁があれば、コンクリート壁に達するようにアンカーボルトを打ち込み固定します。最近の集合住宅では、家具を固定できない壁があります。また、遮音や耐火の問題から、穴をあけることができない壁もあります。くれぐれも、管理事務所や管理組合に確認をいたうで設置しましょう。

■ 家電製品の転倒・落下・移動防止方法 ■

テレビの固定方法

ブラウン管テレビの固定例

テレビ台を床に固定、テレビとテレビ台は背面を複数のストラップでネジ止めする

推奨される設置方法

- 取り扱い説明書に従い固定する。
- 対応可能な製品では、テレビと台をボルトで固定する。
- ストラップ式器具で台と固定する場合は重量、形状により本数を増やす(4本以上)。
- 粘着性マットで固定する場合は重量、台座の形状、底面の凹凸にも注意する(凹凸が大きいと粘着しない)。
- テレビ台を可能な限り床、壁と固定する。

薄型テレビの固定例

薄型テレビの四隅にマット式器具を取り付け固定する方法です。

推奨される設置方法

- 取り扱い説明書に従い固定する。
- 対応可能な製品ではテレビと台をボルトで結合する。
- 壁とヒートンを使用して固定する場合は壁の強度と、テレビの重量に耐えるヒートンや紐の太さ、強度を確認する。

冷蔵庫の固定方法

壁に寄せて固定する

ベルト式器具

冷蔵庫の脚をロックする

最近のドアの多い大型冷蔵庫は、重量が100kg近くあるうえ、移動用のキャスターが付いているので、そのままでは地震の揺れで、かんたんに大きく移動したり、転倒してしまいます。必ず固定しましょう。

推奨される設置方法

- 上部をベルト式器具などで背面の壁と連結する。
- キャスターを固定する場合は、必ず上部固定も併用する。
- 冷蔵庫の固定脚を引き出し、ロックする。

電子レンジの固定方法

壁と台に固定する

ストラップ式器具を用いてレンジの側面と台を固定する

電子レンジの脚とレンジ台を粘着マットで固定した例

電子レンジは、レンジ台等に乗せて使用する場合は、必ずレンジ台を壁等に固定してください。電子レンジはレンジ台と固定してください。

推奨される設置方法

- L型金具、ストラップ式器具、粘着マット等で台と固定する。
- レンジ台も必ず固定する。
- L型金具の組み合わせで壁と連結して固定する。
- スライド式の台を使用する場合、台の飛び出し防止をする。